

報道関係各位

**戦後・被爆 80 年**  
**京都生協組合員から寄せられた証言を次世代へ**  
**『未来へつなぐ記憶 戦争と被爆体験 80 年の証言』を**  
**本日発行！**



◀日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）がノーベル平和賞を受賞した際、被爆者であり、京都生協の組合員でもある花垣ルミさんがノーベル平和センターに寄贈された、京都の職人さん手づくりの銅板製の折り鶴

京都生活協同組合（本部：京都市南区、理事長：高倉通孝、略称：京都生協）は、被爆と戦争から 80 年という節目の年にあたる今年、戦争・被爆体験談集『未来へつなぐ記憶 戦争と被爆体験 80 年の証言』（全 16 ページ）を発行いたしました。

この冊子は、2016 年より京都生協の機関紙『コーポロ』8 月号に掲載されてきた、組合員の戦争・被爆体験談の中から、引き揚げや空襲、学徒動員、被爆の記憶、そして語り継ぐ使命をもった若い世代の声までを収録しています。

被爆から 80 年、戦争を体験した世代が少なくなっていく中、今なお続く世界の紛争や核の脅威に向き合うために、過去の声に耳を傾け、未来の平和を考える一助となることを願い、本冊子を刊行しました。

また、2024 年には日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）がノーベル平和賞を受賞するという歴史的な出来事もあり、戦争の記憶と核廃絶への願いを世界に伝える重要性が、あらためて問われています。

京都生協では「平和はだれかが与えてくれるものではなく、一人ひとりがつくっていくもの」という理念のもと、今後も平和を願う人々の輪を広げ、次世代への語り継ぎを続けてまいります。

**【ご取材、新聞掲載に関するお問い合わせ窓口】**

組織プロフィール

**京都生活協同組合** サステナビリティ推進部 広報

TEL：075-672-6304

WEB：<https://www.kyoto.coop/>





【冊子概要】

■書名：『未来へつなぐ記憶 戦争と被爆体験 80年の証言』

■発行日：2025年7月25日

■発行：京都生活協同組合

■体裁：A4判／16ページ

■内容：戦争・被爆体験談、引き揚げ、空襲、学徒動員、語り部の活動 など

■配布対象：京都生協役員職員、組合員理事・監事、総代、エリア会、平和イベント参加組合員など

▼戦争・被爆体験談冊子 WEB 版はこちら



▼戦争・被爆体験談全編はこちら



【ご取材、新聞掲載に関するお問い合わせ窓口】

京都生活協同組合 サステナビリティ推進部 広報

TEL：075-672-6304

WEB：<https://www.kyoto.coop/>

組織プロフィール

